



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
 - 平成16年度バリアフリー優秀施設・活動大賞が決まりました
 - 交通バリアフリー推進の集いの結果報告
 - 交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

- (2) エコモからのお知らせ
 - 移送サービス研修システム検討のための運転協力者/運行管理業務講習会
 - 参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～ 発刊予定
 - バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
 - らくらくおでかけネット
 - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

- (3) 行政からのお知らせ
 - 交通バリアフリー法基本構想策定状況(国土交通省)

- (4) 各種催し物のお知らせ
 - 聴覚・言語・視覚福祉機器展2004 in 北九州
 - バリアフリー2005

- (5) その他
 - 書籍に関して
 - 記事募集中
 - お願い(必ずお読みください。)
 - ・転送先について
 - ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

平成16年度バリアフリー優秀施設・活動大賞が決まりました

本年度のバリアフリー優秀施設・優秀活動が、推進ネットワーク幹事会により、以下のとおり決まりました。大賞受賞者の皆さまは、11月12日に開催された第3回交通バリアフリー推進の集いで表彰されました。

地域に愛され、地域の財産となる個性とアメニティあふれる駅づくり

(横浜高速鉄道株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

人に優しい ゆいレール (沖縄都市モノレール株式会社)

ソフト的対応を重視した職員教育 ~熊谷駅~ (東日本旅客鉄道株式会社)

当事者の視点による移送サービスの提供

(特定非営利活動法人ホップ障害者地域生活支援センター)

交通バリアフリー推進の集いの結果報告

11/12(金)「第3回交通バリアフリー推進の集い」を国立オリンピック記念青少年総合センター小ホールにて開催いたしました。バリアフリー優秀施設・優秀活動の表彰、小学生による交通バリアフリー体験報告として北海道、新潟県、福井県、香川県の小学生にバリアフリー教室での体験報告をしてもらいましたが、参加者の多くの方は、生徒さん達のお話に感動したようでした。パネルディスカッションは、「バリアフリー社会に向けた人材育成」~心のバリアフリーを育てる~と題し、議論を深めました。当日は、ネットワーク参加団体の他に、自治体、交通事業者等、148名ものご参加を頂きまして、大変ありがとうございました。

当日に配布させて頂きました資料を、ご希望の方はご連絡ください。後日、集いの概要版をホームページに掲載する予定です。

収支明細ができあがりましてので、ご報告いたします。

収入	エコモ負担	1,548,960
合 計		
支出	発表者謝礼金・交通費	855,780
	会場費	66,000
	手話通訳・要約筆記	102,060
	資料代	145,605
	交流会	221,400
	雑費	88,879
	案内郵送代	35,920
	ネットワーク幹事会開催経費	33,316
合 計		1,548,960
収	支	0

また、この集いに関する感想をお送り頂ければと思います。良かった点、改善すべき点、開催会場、ネットワークについて等々何でも結構ですので、下記宛先まで郵送、FAX、E-mailでお送りください。

宛て先:バリアフリー推進ネットワーク事務局(交通エコロジー・モビリティ財団) 宛

〒102-0076 千代田区五番町10五番町KUビル3F

FAX 番号:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集い(平成15年11月14日開催)の当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

(2) エコモからのお知らせ

移送サービス研修システム検討のための運転協力者 / 運行管理業務講習会

交通エコモ財団では今年度の国土交通省からの委託事業として標記の講習会を実施しています。社会福祉法人、NPO 等が行うボランティア福祉有償運送において、一定の要件のもと実施を認める方向が国交省により示されました。

この講習会は将来的に研修体系の標準的なモデルを示すことを目的として、運転協力者の方、ならびに運行管理業務に携わっている方に向けて試行的に行うものです。ご参加頂いた皆さまからはモニターとしてご意見を頂き、どのような研修体系がいいか検討を進めます。

全国 8 力所で開催します。日程は以下の通りです。既に 5 力所で実施しており、今後、仙台、東京、名古屋の各地区で実施予定です。いずれも土曜日、日曜日を使って 2 日間にわたって実施します。

熊本 2004 年 10 月終了 / 大阪 2004 年 10 月終了 / 長野 2004 年 11 月終了

札幌 2004 年 11 月終了 / 岡山 2004 年 12 月終了

仙台 2005 年 1 月 15 日(土) 16 日(日) 宮城県運転免許センターにて

東京 2005 年 1 月 29 日(土) 30 日(日) 津田山オートスクエア(川崎市)にて

名古屋 2005 年 2 月 19 日(土) 20 日(日) 会場未定

< 運転協力者講習の主な内容は以下の通りです >

- ・移送サービス概論 / ・移送サービスの利用者を理解する
- ・接遇・介助について / ・移送サービスでの運転について
- ・移送サービスに関する法律・制度を理解する
- ・福祉車両について / ・安全運転講習
- ・運転実技講習

< 運行管理業務講習の主な内容は以下の通りです >

- ・移送サービス概論 / ・移送サービスにおける運行管理
- ・移送サービスの利用者の理解と対応 / ・運転協力者への理解と対応
- ・運行管理について / ・移送サービスに関する法律・制度の理解
- ・リスクマネジメント(緊急時、事故等への対応)
- ・より活動内容を深めるために(ネットワークづくり、広報等)

実施に際しては、概ね 1 年程度の活動経験がある方を対象とし、各回ごとに当該地域を中心に受講者の募集を行います。なお、この講習会は試行的に実施するため修了証等の発行はいたしません。参加費は無料です。詳しい内容については担当者(沢田)までお問い合わせ下さい。(電話 03-3221-6673)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～ 発行予定

市民参加をどの様に勤めればよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005 年 2 月学芸出版社より発行予定です。

また、発行後シンポジウムを予定しております。詳細が決まりましたらお知らせします。

バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすい CD-ROM を作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,868 駅、空港 80、バス 160、旅客船 427 ターミナルの情報を提供しています。最近の 1 日のアクセス件数は、約 4,000 件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増え

ています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>
(携帯版=i-mode,vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>
(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(3) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成16年8月まで) (国土交通省)

基本構想を作成済みの市区町村 159市町村(168基本構想)

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/>

(4) 各種催し物のお知らせ

聴覚・言語・視覚福祉機器展2004 in北九州

http://www.city.kitakyushu.jp/~k1007010/shikaku/kikiten/kouhou_2.htm

日程:12月18日(土)~10日(日)

場所:北九州市総合保健福祉センター(アシスト21)

バリアフリー2005 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日程:2005年4月21日(木)~23日(土)

場所:インテックス大阪

(5) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp FAX: 03-3221-6674

コラム

去る11月、国土交通省より、交通事業者等の交通バリアフリー実績報告が発表されました。それによると、段差の解消は旅客施設全体で44.1%となり、昨年度より4.7%の増、身体障害者用トイレは旅客施設全体で21.2%となり、8.1%ほど上昇しました。

また、車両等については鉄軌道車両約51,000両のうち、12,000車両(23.7%)がバリアフリー化されています。注意すべき点は旅客船は、約1,100隻のうち50隻(4.4%)でした。昨年度より倍で伸びていますが、実際に高齢者が住む離島を控えているところから、これからのバリアフリー化の対策が急務でしょう。なお、ノンステップバスは平成16年3月31日現在で5,432台でした。

東京に住んでいるとノンステップバスやエレベーター設置等のバリアフリー施設が多くなったな一と感じていますが、地方においては、まだまだ進んでいないのが現状なのかな？

先日の交通バリアフリー推進の集いでバリアフリー化に大きく貢献されている施設として、みなとみらい線の横浜高速鉄道株式会社様、鉄道建設・運輸施設整備支援機構様が表彰されました。みなとみらい線の各駅は移動動線と駅の空間に特に配慮されており、同一場所にエスカレータ、階段、エレベーターが配置され、乗る場所、降りる場所が同一で、利用者の選択により、どの移動手段も使えるように配慮されています。ぜひ、皆さんも見てください。

編集後記

今年も残すところあと半月となりました。今年一年も皆さまにお読み頂きましたこのメールマガジンも今年の最終号となりました。皆さまからいろいろな情報を頂きまして、ありがとうございました。

皆さまのこの1年は如いかがでしたか？清水寺の今年の字は「災」。台風、地震と自然の猛威を目の当たりにしました…。来年は皆さま「幸」となるような年でありますように。よい新年をお迎えください。